

2011年3月11日14時46分。  
あの日、釜石の子どもたちは  
どのようにして、大津波を  
生きぬいたのか。

『つなみ てんでんこ  
はしれ、上へ！』

指田 和・文 伊藤秀男・絵



44ページ 23cm オールカラー 定価:1365円(本体:1300円) ISBN978-4-591-13220-3 ポプラ社

被災したことをわすれろという人もいれば、  
わすれるなという人もいる。

でもぼくは、わすれないほうがいいと思う。 釜石東中学校の生徒のこぼれ

震災から二年が過ぎました。

この絵本の舞台になった釜石市の鵜住居地区は、津波の被害が甚大なところでした。津波にのまれて亡くなったかた、いまだに行方が知れないかたも何人もいらっしゃいます。

そんなひどい状況のなか、子どもたちは生きぬきました。この絵本は、その子どもたちの姿を描いたドキュメンタリーです。

著者、指田さんは、釜石に親戚がおられたこともあり、震災直後から、釜石に入っています。ボランティアでおとすれた避難所でたまたま出会ったのが、鵜住居小学校、釜石東中学校の子どもたちでした。それから、ずっと、釜石と自宅のある埼玉県を往

復し、取材をつづけた結果が、この絵本です。

ここに出てくる子どもたちは、みな、画家の伊藤秀男さんが現地でスケッチしてきた子どもたちです。子どもたちのものすごい生きるエネルギーをそのまま、描いてくださいました。取材で聞いた子どもたちや先生のこぼれを思い出し、またご自身が遭われた伊勢湾台風の被害を思い出し、描いているうちに涙ぐんでしまったと、おっしゃっています。

どうぞ、この絵本を、子どもたちの事実を、ご覧いただけますようお願い申し上げます。震災を語り継ぐために。

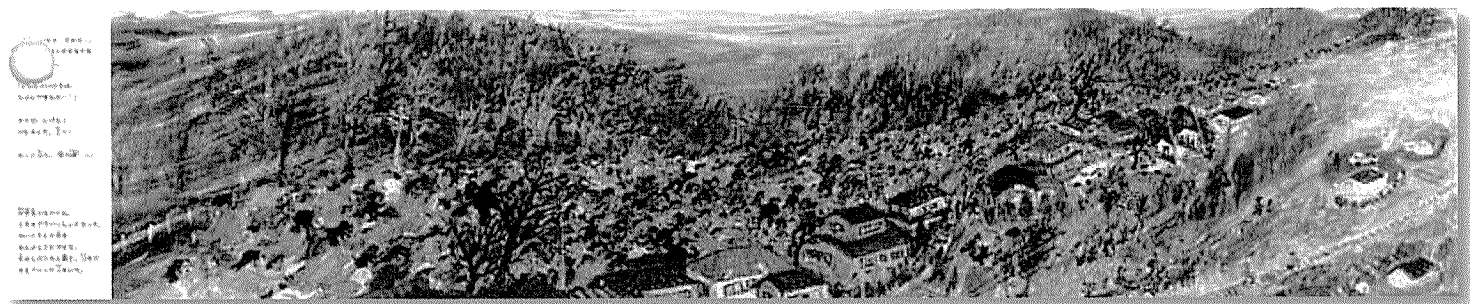
著者紹介

指田 和 (さしだ かず)

いのちや平和、自然に関するテーマを取材し作品にしている。著書に、阪神淡路大震災で被災した子どもの心を追った『あの日をわすれない はるかひまわり』や、『ヒロシマのピアノ』、『ヒロシマのいのちの水』などがある。

伊藤秀男 (いとう ひでお)

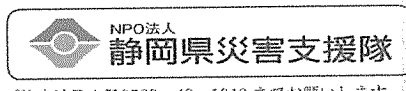
画家・絵本作家。『夏の海』で小学館絵画賞、『けんかのきもち』で日本絵本大賞、『うしお』でJBBY賞・IBBY(国際児童図書評議会)オナーリストを受賞。そのほかの『ぜっこう』、『ももたろう』、『さばうりどん』など多数ある。



観音のページを開くと約1メートルにもなる画面。

キリトリ

書名		ご注文数	
つなみ てんでんこ はしれ、上へ!		冊	
44ページ 23cm オールカラー 定価:1365円(本体:1300円) ISBN978-4-591-13220-3 ポプラ社			
ご氏名(学校・図書館)	お電話番号	取扱い書店名	
	FAX 番号		
ご住所	お申込日	年 月	



ご注文はFAX 0538-49-1016までお願いします。

必要事項をご記入の上、お取り引きの書店にお渡しください。お客様のご氏名・ご住所などの個人情報は、この書籍をお届けするためのみに使用します。



〒160-8565 東京都新宿区大京町 22-1 / 振替 00140-3-149271  
受注専用フリーダイヤル: FAX 0120-53-6188 / 受注センター: 電話 03-3357-2211 FAX 03-3359-2359  
販売局: 電話 03-3357-2212 / FAX 03-3359-2647 / ポプラ社オフィシャルサイト <http://www.poplar.co.jp>